平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名　フジテック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6406　URL　http://www.fujitec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 内山　高一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　財務本部長　(氏名) 加藤　義一　TEL 0749-30-7111

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,796	8.6	1,220	257.8	1,254	216.6	631	―
24年3月期第1四半期	21,919	△11.1	340	△68.9	396	△67.9	17	△98.4

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　2,930百万円　(144.6%)　24年3月期第1四半期　1,197百万円　(△4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.75	―
24年3月期第1四半期	0.19	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	109,952	70,190	59.0
24年3月期	107,213	67,915	58.9

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　64,923百万円　24年3月期　63,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	5.00	―	7.00	12.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		6.00	―	8.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,000	8.8	2,300	10.3	2,400	16.1	1,400	35.7	14.96
通期	115,000	9.5	7,500	39.8	7,700	32.8	4,300	64.9	45.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)当第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	93,767,317 株	24年3月期	93,767,317 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	198,283 株	24年3月期	198,039 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	93,569,155 株	24年3月期1Q	93,572,896 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了し、平成24年8月6日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4

３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

（金額単位：百万円未満切捨て）

	前第１四半期 連結累計期間 （2011年４月１日～ 2011年６月30日）	当第１四半期 連結累計期間 （2012年４月１日～ 2012年６月30日）	前年同四半期比(%)
売上高	21,919	23,796	8.6
国　　内	10,526	10,302	△2.1
海　　外	11,393	13,494	18.4
営業利益	340	1,220	257.8
経常利益	396	1,254	216.6
四半期純利益	17	631	―
１株当たり四半期純利益	0.19円	6.75円	―

当第１四半期連結累計期間の世界経済は、欧州政府債務問題に対する根強い不安を背景として、減速感が広がりました。中国では景気の拡大スピードが鈍化し、他のアジア地域は停滞感が強まりました。北米での景気は緩やかに回復している一方、欧州では、引き続き緩慢な動きとなりました。日本では、円高の影響などで、依然として厳しい状況にありますが、復興需要等を背景に、緩やかな回復基調となりました。

昇降機業界におきまして、中国市場では、住宅関連を中心に堅調な需要が持続しましたが、他のアジア地域や欧米では足踏み状態が続きました。日本では、マンション建設や商業施設が持ち直すなど、需要の回復が見られました。

このような情勢のもと、当第１四半期連結累計期間における国内市場では、既設のエレベータ・エスカレータを最新の制御システムに更新するモダニゼーション事業で、「エレベータ制御盤交換パッケージ」の販売が、引き続き拡大しました。また、新設事業では、標準型エレベータ「エクシオール」に、エレベータの通過と行き先方向を電子音で知らせる「走行お知らせ音」を業界で初めて標準装備し、天井照明を全面LED化するなど、さらに機能を充実させました。この新しい「エクシオール」を中心に、新設工事受注も伸長した結果、国内受注高は131億94百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。

海外市場においては、中国での大規模住宅開発向けエレベータの新設工事が大幅に増加するとともに、北米でも新設工事が増加し、海外受注高は158億27百万円（同37.2%増）となりました。

以上の結果、受注高合計は、290億22百万円（同24.9%増）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質40.6%増となっています。

売上高は、国内売上高103億２百万円（前年同四半期比2.1%減）、海外売上高134億94百万円（同18.4%増）となり、計237億96百万円（同8.6%増）となりました。海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質21.2%増となりました。

受注残高は、国内では、モダニゼーション工事やエレベータ新設工事の増加により、373億６百万円（前連結会計年度末比8.5%増）となり、海外では、北米、南アジアおよび東アジアでの増加により、653億50百万円（同2.7%増）となりました。この結果、受注残高合計は、1,026億56百万円（同4.8%増）となりました。

損益面では、日本や北米での損益改善により、営業利益は12億20百万円（前年同四半期比257.8%増）、経常利益は12億54百万円（同216.6%増）となりました。特別損益の純額は、投資有価証券評価損などで、58百万円の損失となり、税金等調整前四半期純利益は11億95百万円（同289.4%増）となりました。税金費用が前年同四半期比２億94百万円増加し、四半期純利益は前年同四半期の17百万円から、６億31百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（金額単位：百万円未満切捨て）

	売上高			営業利益		
	前第１四半期連結累計期間	当第１四半期連結累計期間	前年同四半期比(%)	前第１四半期連結累計期間	当第１四半期連結累計期間	前年同四半期比増減額
日　　本	11,210	11,119	△0.8	△199	368	568
北　　米	2,348	2,879	22.6	△258	△0	257
欧　　州	100	87	△13.1	△8	△5	3
南アジア	2,361	2,345	△0.7	418	373	△45
東アジア	7,090	8,938	26.1	389	484	94
小　　計	23,110	25,370	9.8	341	1,220	879
調整額	△1,191	△1,573	―	△0	△0	△0
合　　計	21,919	23,796	8.6	340	1,220	879

（日　　本）

売上高は、モダニゼーション工事が前年同四半期に比べて伸長したものの、新設工事の減少により、111億19百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。営業利益は、新設工事のコスト低減およびモダニゼーション工事の利益増により、３億68百万円（前年同四半期　営業損失１億99百万円）となりました。

（北　　米）

売上高は、保守・サービス事業の増加により、28億79百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。営業損益は、新設工事、保守・サービス事業ともに、採算が改善し、ほぼ収支均衡（前年同四半期　営業損失２億58百万円）となりました。

（欧　　州）

売上高は、エスカレータ販売の減少により、87百万円（前年同四半期比13.1%減）、営業損益は、５百万円の営業損失（前年同四半期　営業損失８百万円）となりました。

（南アジア）

売上高は、為替の円高の影響により、前年同四半期に比べて0.7%減の23億45百万円となり、営業利益は、新設工事の原価増などで、３億73百万円（前年同四半期比 45百万円減）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質2.4%増となりました。

（東アジア）

売上高は、中国での集合住宅を中心とするエレベータ新設工事が堅調に推移し、89億38百万円（前年同四半期比26.1%増）となり、営業利益は、韓国の新設工事の採算性が改善するなど、４億84百万円（同94百万円増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産額は、1,099億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億38百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ４億64百万円増加し、397億62百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少した一方、前受金が増加したことによります。

純資産額は、701億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億74百万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定が20億24百万円増加したことによります。また、当第１四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.0%（前連結会計年度末比0.1ポイント増）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、前期決算発表時（2012年５月11日）の見通しを変更していません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、2012年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

この変更による当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2012年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,150	27,654
受取手形及び売掛金	25,457	24,755
商品及び製品	2,704	3,227
仕掛品	2,640	2,694
原材料及び貯蔵品	5,844	6,312
その他	4,191	4,675
貸倒引当金	△557	△675
流動資産合計	65,431	68,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,774	17,790
機械装置及び運搬具（純額）	2,164	2,162
工具、器具及び備品（純額）	1,375	1,430
土地	6,807	6,820
リース資産（純額）	8	7
建設仮勘定	465	489
有形固定資産合計	28,594	28,700
無形固定資産		
のれん	694	717
その他	1,811	1,925
無形固定資産合計	2,506	2,643
投資その他の資産		
投資有価証券	4,281	3,907
長期貸付金	1,916	1,915
その他	4,628	4,289
貸倒引当金	△145	△146
投資その他の資産合計	10,681	9,965
固定資産合計	41,782	41,309
資産合計	107,213	109,952

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2012年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,567	10,954
短期借入金	1,832	519
1年内返済予定の長期借入金	11	12
未払法人税等	669	713
賞与引当金	1,710	2,407
工事損失引当金	2,900	2,905
その他の引当金	473	430
前受金	9,607	11,312
その他	4,629	4,420
流動負債合計	33,401	33,677
固定負債		
長期借入金	1,500	1,493
退職給付引当金	4,122	4,316
その他	273	274
固定負債合計	5,896	6,084
負債合計	39,298	39,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	57,228	57,205
自己株式	△130	△130
株主資本合計	84,197	84,173
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	239
為替換算調整勘定	△21,514	△19,490
その他の包括利益累計額合計	△21,058	△19,250
少数株主持分	4,777	5,267
純資産合計	67,915	70,190
負債純資産合計	107,213	109,952

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2011年４月１日 至 2011年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日）
売上高	21,919	23,796
売上原価	17,854	18,472
売上総利益	4,064	5,324
販売費及び一般管理費	3,723	4,103
営業利益	340	1,220
営業外収益		
受取利息	56	86
受取配当金	69	62
その他	40	36
営業外収益合計	167	185
営業外費用		
支払利息	33	18
為替差損	63	124
その他	15	9
営業外費用合計	112	151
経常利益	396	1,254
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	－	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	20
投資有価証券評価損	85	38
特別損失合計	89	58
税金等調整前四半期純利益	307	1,195
法人税、住民税及び事業税	236	390
法人税等調整額	△123	17
法人税等合計	113	408
少数株主損益調整前四半期純利益	193	787
少数株主利益	176	156
四半期純利益	17	631

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2011年４月１日 至 2011年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2012年４月１日 至 2012年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	193	787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△215
為替換算調整勘定	999	2,358
その他の包括利益合計	1,003	2,142
四半期包括利益	1,197	2,930
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	870	2,439
少数株主に係る四半期包括利益	327	490

（3）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　2012年４月１日　至　2012年６月30日)

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2011年４月１日　至　2011年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売　上　高								
外部顧客への売上高	10,540	2,343	98	2,360	6,576	21,919	―	21,919
セグメント間の内部売上高又は振替高	670	4	1	0	513	1,191	△1,191	―
計	11,210	2,348	100	2,361	7,090	23,110	△1,191	21,919
セグメント利益又は損失（△）	△199	△258	△8	418	389	341	△0	340

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去10百万円およびたな卸資産の調整額△10百万円が含まれています。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2012年４月１日　至　2012年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売　上　高								
外部顧客への売上高	10,318	2,873	85	2,344	8,173	23,796	―	23,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	800	6	1	0	764	1,573	△1,573	―
計	11,119	2,879	87	2,345	8,938	25,370	△1,573	23,796
セグメント利益又は損失（△）	368	△0	△5	373	484	1,220	△0	1,220

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去８百万円およびたな卸資産の調整額△８百万円が含まれています。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　2012年４月１日　至　2012年６月30日)

該当事項はありません。